

# きずな

ハウス食品だより

**特別号**

2021.11



くさんできました。自家製の食材を使ったカレーはもちろん最高に美味しいです。

私も来年には70歳を迎えますが、健康で生きがいがある暮らしを楽しみたいと願っています。来年こそは「一樹の会」が開催され、皆様とお会いできることを楽しみにしております。



## 7人の無邪気な仲間達

岡本英文さん

入社：1971年 最終所属先：小林桂 千葉県千葉市

ソマテックセンターで働き定年後に集まった7人の仲間、年に何回か時間を忘れ親睦を図っている。中途半端にならないよう、会則を作成し、お互いを励まし活動している。2か月に一度の定例会を設ける、他の会員の『わがまま』を3度までは許すという寛容精神溢れる仲間である。要は飲食し、おしゃべりして、お互い元気で10年余り続けている。1～2年に1度の小旅行を中心に、旅行の計画や、また旅行後の反省会と称し楽しく時間を共有している。

旅行は車で千葉県内や富士山周辺、伊豆旅行が主である。皆富士山大好き、富士山が見えると子供のように感動。無邪気な仲間達。宿泊は主にリゾートマンションで、鍋物の自炊、食べて飲んで会話が弾む。二日酔いもなく、翌朝の雑炊は見事になくなる。旅行後は、思い出に作成したスライドショーに全員でナレーションの構成、吹き込み、最近は文字やバックミュージックを入れる凝りようだ。2019年秋の伊豆旅行のスライドショー編集集中のコロナ禍、もう1年半余り集合できずにいる。仲間のワクチン接種も終わり、久しぶりの再会とスライドショーの完成を待ち望んでいる。



右から岡本英文さん、仙石浩次さん、谷口守男さん、轟秀治さん、澤田博さん、浅井義文さん(この時は6人の参加)

## あちこち出かけました

阿部恵里子さん

入社：1971年 最終所属先：東北支店 宮城県仙台市

私は仙台営業所(現東北支店)に入社して試食宣伝や料理教室、各種イベントなどで東北6県各地に何十回何百回?と出かけました。「フルーチェ」、「グラタン」、「本中華」など飛ぶように売れた思い出があります。社内旅行ではもちろん東北各地、日光や函館などの名所見物に出かけて楽しみました。

ハウス食品に入社したからこそ生駒のアイデアックセンターで研修したり、神戸ポートピア博で全国のDSさんと交流しながら販売応援にも出かけることができました。初めての飛行機や新幹線にドキドキしたことを思い出します。そして海外研修、アメリカではカラフルな野菜や果物がドーンと陳列された大型スーパーの見学、インドではスパイスの香りに包まれながら、3mほどもある支柱に巻き付いた胡椒がいつぱいの畑を見学しました。

ハウス食品に入社していなければできなかった貴重な体験をさせていただきました。あちこち出かけてたくさんの思い出があります。本当にありがとうございます。感謝でいっぱいです。

今はあちこち出かけられませんが、ハウス製品を食べて飲んで元気に近所に出かけて楽しみます。



## 初めての野菜作り

東義修さん

入社：1975年 最終所属先：福岡支店 福岡県筑後市

こんにちは。皆様お元気でしょうか。コロナ感染収束の目途が見通せない中、息苦しい日々が続いています。

そのような状況下ですが、私はパートで週2日位歯科医院の患者さん送迎運転手を2年間続けています。自分では通院できない高齢者の方々がほとんどですが、送迎の車中でのコミュニケーションを通じて、元気をもらっています。

また、昨年から家庭菜園で野菜作りを楽しんでいます。全くの素人ですが、一緒にやっている仲間から手ほどきを受けて、季節の旬野菜を育て収穫する喜びを楽しんでいます。

今年の夏は、キュウリ・ナス・ピーマン・かぼちゃ・スイカ等がた

# 「きずな」&「一樹の会」共同企画 「きずな 特別号」をお届けいたします

昨年来、皆様とお会いすることができなくなり、「一樹の会」も2年連続の中止を余儀なくされました。会員同士の「ふれあい」の場も閉ざされたままとなり、とても残念に思っております。

こんな時だからこそ、皆様との接点を少しでも多く持ちたいとの願いから、「きずな」&「一樹の会」共同企画として、特別号を発行させていただきました。

ハウス食品時代の思い出、思い出深いハウス製品、近況報告など、さまざまなテーマで全国の皆さんより、多くのメッセージをお寄せいただきました。

今回の企画で、少しでも皆さんのコミュニケーションの弾みになっていただければと願っております。

## 「きずな 特別号」発行に向けて

皆様、お元気で過ごしのことと存じます。

昨年に引き続き今年もまた、「一樹の会」は、コロナ禍の中で、やむを得ず中止とさせていただきました。何としても残念でなりません。2年間に「一樹の会」の最大の目的である全員相互の親睦ができないとは、誰が想像したでしょう。そんなあたりよのないストレスを少しでも発散するために、今年は「もっとコミュニケーション」企画を実施させていただきました。「一樹の会」ホームページ上では、7月から9月のあいだに皆様から多くの写真とメッセージをいただきました。本当にありがとうございました。まだご覧になってない方はぜひホームページを開いていただきたいと思います。

また、エリア単位では、オリジナル企画を実施しています。エリア会長、役員の皆様オリジナル企画を考えていただき、会員の皆様にもご案内があったかと思えます。

そして、最後がこの「きずな 特別号」です。皆様から多くのお便りをお寄せいただきました。気のせい、この環境下の皆様の強い思いを感じます。どうぞ、ご投稿いただいた方に思いを馳せながら読んでいただき、心のコミュニケーションを取っていただければ嬉しく思います。今年、総会実施がままならない中、こうした企画が実施できましたのも、会社からの大きなご支援があったからこそだと強く感じています。改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、コロナ禍は、10月からすべての緊急事態宣言も解かれ、通常の生活に戻つつあります。このまま、いい方向へ進んで欲しいと願うと同時に、「来年の『一樹の会』は何としても開催したい！」と強く思うのが今の気持ちです。

そして、今からそれぞれのエリア「一樹の会」と力を合わせて万全の準備をして臨みたいと思います。会員の皆様、開催の暁には、どうかまわりの方をお誘いの上ご参加いただきますよう切にお願いいたします。3年ぶり(関東は5年?)の再会実現で多くの皆様と“対面できる幸せ”を感じたいと思います。

どうぞお元気に過ごしてください。



「一樹の会」全国連絡会  
会長 菊池敏朗

えていますが、首都圏、特に東京や住んでいる川崎（神奈川県）の感染が爆発的になっており、近くのスーパーの買い物と病院以外は外出をさせています。カメが甲羅の中ですこんだ状態です。そんな時に、あれこれ言われていましたオリンピックが開催され、この世の見納めになるかとも思ひ、朝から晩までテレビにかじりつき応援をしました。こんなにテレビを見たのは何十年前に、初めて家にテレビが設置された時以来です。おかげで多くの感動をいただき、ずさんでいた心が明るくなりました。この大変な時期に頑張ってくれたアスリートの方々、大会を表裏で支えてくれた多くの関係者の皆様に感謝しています。

長らく「一樹の会」の仲間にお会いしておりません。寂しい限りです。何とか生きていく内にコロナが収束し、一日でも早く皆様にお会いできますことを願っております。お会いできる日を楽しみにいたしております。



## カレーで元気に！

堀口洋子さん

入社：1980年 最終所属先：東京本部 埼玉県秩父郡

私は、80年度入社で東京本部に約3年間勤務しました。「一樹の会」に出席してなつかしい方々とお会いすることができました。自然豊かな秩父に住んで27年、学校の調理員として働いて25年になります。給食で毎月1回は必ずハウス「パーメントカレー」が出ますが、カレーは子供達に大人気です。今は主人と二人暮らし。私は給食でカレーを食べるので、主人に先日「咖喱屋カレー<辛口>」を出してみました。普段レトルトカレー



## カロリー控えめが長寿の秘訣

波多野弘さん

入社：1959年 最終所属先：東京本社 神奈川県横浜市

- ・ カロリーを多くとると、その分消化しないといけないので活性酸素が多く生まれる
  - ・ その後、老化が早まり、寿命が短くなる
  - ・ 老化の原因はカロリーの取りすぎ
  - ・ バランスのよい食事が長寿の秘訣
- 小生87歳。90歳まで月3回のゴルフ実行。人生100年時代？

## ハウス食品将来への課題

棚野清吾さん

入社：1962年 最終所属先：組合本部 大阪府東大阪市

OB・OGの皆さんお元気ですか。さて、昭和54年～55年頃の古い話になりますが、当時、故浦上郁夫社長が昭和38年8月に発売されました『パーメントカレー』は今やハウス食品の大柱に育ったが、何時までもそれに甘んじることなく、ハウス食品にとって第二の大柱と成るものを考え生み出すことが将来への課題や」と言われました。要は「過去の物事に甘んじるな」という意味は、今も私の脳裏に焼き付いてたまにふと思いつく時もあります。

その後昭和43年9月に「ジャワカレー」が発売されましたが、当時、故郁夫社長が念願だった「将来への課題」は、私のみでなく他の社員の方々にも伝えられて記憶にある方もいると思います。当時私は組合専従の書記長として勤めていました。

ところで先般、郵送いただいた49号の「きずな」を拝読し、関東工場ですでに「パーメントカレー」の生産からすでに50年を迎えていることを知りました。

これからもハウス食品のいっそうの発展を祈ります。



## 夫婦ともども何とか生きております

鴻池良夫さん

入社：1964年 最終所属先：東京支店 神奈川県川崎市

今年の8月で傘寿となりました。この年になると体のあちこちに支障をきたし、2人で病院通いです。コロナの接種は6月に2回目を終

ながら毎月発行を軌道に乗せ、社長の大家さんからの経営を反映するリニューアルを拝命し季刊発行の誌面向上に取り組みました。当初は版下まで作成するため残業が月40時間はざらでした。その後、本来の企画立案、国内各地の部署に取材に行く姿勢にシフトさせ、編集委員制度も見直しコミュニケーション・クルーと私が命名した新制度のもと現場との交流を深め、取材の深掘りに多くの皆様の支援やご協力を得ながら毎月レベルアップを目指しました。

阪神大震災の日も出社し、終日つながらない東灘区役所へ電話をかけ続けていました。2日後、区役所への支援物資を積んだハウス物流サービスの4t車に同乗して取材。妻の作った握り飯を運転手の方と食べながら被災した市内を走ったことは忘れられない思い出です。フィルムからデジカメにシフト、25年間カメラマンとして役員・部署長、多くの社員を撮影してきた経験は、今は趣味としてフェイスブックに日々写真をアップすることに活かしています。



大阪分室廃止2か月前撮影(撮影は堤伸子さん(現役))  
前列右から 谷口輝秋さん、大井明子さん(現役)、越智清浩さん、荒川裕之さん  
奥右から 宮岸寛さん、小川隆司さん、河本雄志さん、小森幹久さん

<余談>

マーケティング室時代の思い出の一つ、1980年春、「シャープビック」のCMタレント候補を決めるため、芸能プロダクション3社とご本人に面会の予定でした。しかし、突然上司2人が重要会議に出るため同席できない！さあ、入社5年目の私は、心細い中一人で少し強面の芸能プロの方と応接室で面会。デビュー間もない松本伊代さん、横須賀昌美さん、日高のり子さんの順で各30分の面談を終え、私は松本伊代さんで決めたい…。しかし、上司から聞いていた所属プロダクションの案件が頭をよぎり、日高のり子さんがいいと本意ながら上司に報告。松本伊代さんはその後、大塚食品がレトルトカレーのCMに起用、81年歌手デビューで注目されたのはご存じのとおり。日高さんはアイドルとして苦勞されましたが、声優の道で成功しプロに。NHKの「あさイチ」のナレーターとしての声を毎朝聴いていると、ゆるぎないプロの仕事をしていると思います。CM面会のほろ苦い記憶として残っています。

## 古き良き時代の一頁

増野良彦さん

入社：1962年 最終所属先：ハウス物流サービス(株) 埼玉県さいたま市

昭和38年春、東京支店野球部が創部されユニフォームも新調された。ちなみに私の背番号は11、打順は2番でショートのポジションをいただいた。台東区軟式野球連盟にも加入した。翌年国体出場をかけた予選に参加し、なぜだか順調に勝ち進んだ準決勝にも勝利し、直後の決勝戦に臨んだ。ダブルヘッダー、雨上がりの最悪のコンディションの中、対戦相手のパイオニアにこの大会初めて先取点を許したが見事逆転勝利し、台東区代表の座を勝ち取った。

何しろ練習といえば会社前の歩道でキャッチボールをする程度ですべてぶっつけ本番の試合だった。会社に帰り、ビールでささやかな勝祝会が行われたが誰もが思いもなかった優勝で喜び合う仲間の笑顔が忘れられない。

東京大会は旧後楽園球場で行われたが、日程が平日のため仕事を優先し代表を辞退した。今日なら会社の良きアピールになったと思うが、当時の世情はまだまだ仕事中心の時代であったため、残念だがやむを得なかったと思っている。

今もこの年で自治会ソフトボール部で球拾いに専念しているが、何かにつけて思い出す記憶に残る古き良き時代のなつかしい一頁である。



東京支店前にて。前列右端 河野隆さん、右から3人目 山下明さん、後列左端 増野良彦さん、右から2人目 新井勝雄さん、3人目 横道禎友さん。無記名は中途退職者

## 大阪に転勤、ゼロから立ち上げた『まいはうす』

荒川裕之さん

入社：1975年 最終所属先：東京本社 神奈川県相模原市

1991年、東京本部マーケティング室から広報室大阪分室に転勤。仕事は総務部から広報室へ移管された社内報制作。分室が廃止されるまでの9年間、広報室が制作する『まいはうす』を試行錯誤し

## ハウス食品時代の思い出

雨宮多美子さん

入社：1970年 最終所属先：高松支店 山梨県甲府市

私が四国にいた頃は本州とを結ぶ橋はなく高松営業所でした。国道から少し歩いて踏切を渡ると、畑の中に真新しい営業所が。ほどなくして高松支店に。販売課にいました。鉄道を主に使用して四国中出張。

早朝の高松築港駅で、さぬきうどんを立ち喰い。始発なので席は自由。窓から眺める風景は、西・東でも遠浅の緑色をした海、海。

ある時「ほんとうふ」(クッキングとうふ)の販売あり。あれは私の中では面白い商品でした。プラスチック製容器付きのほんとうふがありました。昭和バリバリの時代です。今のように台所にタッパーは少なく金属の弁当箱にとうふを流し入れ、それが離れない。よく耳にしました。多くの購入の方に尋ねると、山深くスーパーマーケットが遠方、海外で暮らしている娘に送るなど。試食すると動く商品だけれど、その後の購入に至らない。日本文化の中で、とうふは出来上がったものを買うのであって、あえて作る商品ではなかったのか。それとも世に出たのが早かったのか。

最近、釣り旅行中に高松支店を見に行きました。踏切は踏線橋に、支店はなく、ねぎ畑の所に家。近くの海は高松空港予定地でした。杭だけが波に浮かんでいました。

## 今も、昔も

廣部匠さん

入社：1974年 最終所属先：奈良工場 奈良県奈良市

「おまえ昔とちっともかわらんなあ」(決して化け物ではないです)、「あいかわらず声がでかいなあ」と今も言われています。1974年に故浦上郁夫社長のもとで入社し、研究所、東大阪工場、福岡工場、奈良工場、お客様相談室(応援)、サンハウス食品でいろんな方に出会い、助けていただき、おおきな迷惑もかけてきました。ハウス食品を2002年に早期退職して、そのあといろいろな仕



関西地区に住む74年入社同期メンバーです

勤めることができるとは全く思っていませんでした。支店の皆様はもちろん、お得意先のおかげです。なれるのに苦労した広島弁や大好きになったお好み焼き等、家族共々、第二の故郷と思っています。支店の皆様ご活躍ください。



## 大和郡山市料理教室での スパイス講義

鳴神寿彦さん

入社：1977年 最終所属先：(株)ハウス食品分析テクノサービス 千葉県千葉市

ハウス食品分析テクノサービスの関西事業所に単身赴任していた際に、大和郡山市中央公民館で開催されていた料理教室からスパイスに関して講義をして欲しいとの依頼がありました。料理教室には、ハウス食品の社員の何名かが参加しており、料理教室の先生を通して大和郡山市より依頼がありました。

当日は、初めの1時間でカレーによく使われるスパイスの説明を行い、その後8種類のスパイスを使って生徒さん各自でマイカレーパウダーを調合してもらいました。

料理教室で使うスパイスは奈良工場の協力により準備することができました。また当日は当時の奈良工場長の西尾さんも特別参加され、一般の生徒さんに混じって料理教室を体験されました。

私はそれまで、食品や栄養成分に関する学生や、調理師の方などにスパイスに関する講演は経験していましたが、一般の主婦の方と話をするのが初めてでした。想定外の質問も沢山いただき、皆さんにとってほんの少しですが、スパイスが身近に感じられたのではと思いました。



写真中央が鳴神寿彦さん

## ハウス食品の思い出

西尾彰さん

入社：1968年 最終所属先：仙台支店 広島県広島市

昨今と違いイベント・催事が目白押しの約30年位前の出来事(原田支店長の頃)かと思いますが、マーケットのシェアアップのためハウス製品を大陳して安値を設定して集まったお客様に喜んでもらう楽しい内容でした。たくさんの店舗で実施したので、アナウンサーは値切りマンとして有名でした。

また、有名タレントを呼んで歌とサイン会も岡山の天満屋の店舗を中心に行い、タレントの人気の人気が我々が思う以上のもので相本久美子さんは想像以上の効果でした。

他にもいろいろなタレントともイベント、催事をしてきておりお客様が喜ぶのを見てこちらも楽しませてもらいました。いろいろと気苦労はありましたが…。青春期(何回目か古い青春期)の思い出にあたりながら書かせてもらいました。



## 人気タレント河合奈保子さん 支店に訪問いただく

米倉信治さん

入社：1970年 最終所属先：東京本社 広島県広島市

昭和51年より15年の永きにわたって広島支店で勤務いたしました米倉です。同封させていただいた写真は57年。本社マーケティング室の協力でヒデキの妹「河合奈保子さん」に広島市内の数社を販促活動の一環で訪問いただいた折に、西区の広島支店に立ち寄り、会議室にてタレントさんを囲んでメンバーと撮ったものです。中列左より5人目が河合さん。前列左より5人目が米倉、隣に波多野支店長。前列右端が西尾「一樹の会」現会長。他なつかしい面々の姿が多数散見されます。私が赴任した時、広島は前年のカーブ優勝の余韻一色でした。反対に経済はマツダの不振が長引き、フォードの資本投入でやっと再スタートを切る有様でした。

そんな中で支店には何の貢献もできない自分が、まさか15年間

は買わなかったのですが、便利でとても美味しかったので、これからも利用したいと思います。

投稿した写真は、主人、娘3人、孫7人と還暦祝いで今年の1月に撮りました。主人は一つ年上なので、その時はコロナがなかったので食事会でお祝いしたのですが、私の時はコロナの影響で、写真を撮って記念に残しました。

皆様のご健康と、またいつの日か「一樹の会」が開催できることを心よりお祈りいたします。

## つゆの素と親子丼

森岡重昭さん

入社：1969年 最終所属先：東京本社 千葉県市川市

会社を退職した時からやりだし、今も続けていることが二つあります。

一つは毎朝6キロ歩くこと、おかげで75歳の今でも何とかバテないでゴルフができます。二つめは料理です。今は火、木、土の夕食が私の担当です。野菜や魚の煮つけも作ります。「ザ・カレー」と「シチューミクス」は絶品で必需品です。それにも増して重宝しているのがハウス食品にはありませんが「つゆの素」です。麺類やてんぷらのつゆはもとより野菜の煮つけはこれがないと私はできません。「親子丼」をこれを使って初めて作った時は感動ものでした。田舎育ちで小学の時、母親と隣の町まで行った時、そば屋で「親子丼」を初めて食べて、こんなきれいで美味しい食べ物があるのかと思った原体験料理です。それが自分でできたのです。その喜びは今まで味わったことのないものでした。

たかが「親子丼」、されど「親子丼」。私の元気料理です。





## ハウス食品時代の思い出

木本武宏さん

入社：1967年 最終所属先：エスバック 大阪府豊中市

1967年に入社させていただき2005年に退社、38年間お世話になりました。支店営業、マーケティング室、関連会社、秘書室などいろいろなセクションで多くの方々にお世話になりその間多くのお得意先、メーカー、お取引先様と知り合い、現在も一部お付き合いさせていただいています。特に思い出深いのは東京支店に入社2年目から4年間担当した千葉県です。毎日営業車カローラバンでお得意先を訪問、当時は「パーモントカレー」の生産が間に合わず割り当て出荷でクレームに頭を下げ謝る毎日でした。いろいろなお得意先から教わったことは今でも大切に残っています。当時は競合メーカーより一軒でも多くの卸店を訪問し、1ケースでも多く注文をいただく行動でノルマ達成が営業のやりがい、達成感でした。現在の激しいマーケットの変革、デジタル化した営業にはない苦労と楽しみがあり幸せだったと思います。年を重ねお世話になった方々の訃報を聞くたびに、寂しく感じる今日この頃です。



## コロナ禍で、6人目の孫が誕生でhappy !!

田中秀子さん

入社：1978年 最終所属先：エスバック 奈良県大和郡山市

奈良工場でお世話になり、退職して37年が経ちました。全国の奈良工場の皆様、この大変な時代の中、お元気でお過ごしでしょうか？

いつもはなかなか「一樹の会」に出席ができなかったのですが、コロナ禍になると急に皆さんに会いたくなりはじめています。

そんな中、2021年3月24日に6人目の孫が無事に元気に生まれてきてくれました。二女は立ち合いも面会も禁止の中、マスク出産で可哀想でした。でもコロナ禍で沈んでいた気持ちが、パッと明るくなりました。

上の孫5人は私と同じで、「パーモントカレー」やクリームシチュー、「フルーチェ」や「とんがりコーン」の大ファンです。3世代でハウス食品の製品にお世話になっています。現在、兵庫に住む長女一家とは、昨年のお正月からコロナ禍で会えず、少し淋しいです。

ハウス食品の皆さんや、県をまたいでの孫達に早く会いたいです。あと少しのがまんですね。



2018年10月、77歳の喜寿のお祝いをしていただいて以降、コロナ禍により「一樹の会」の皆様にもお会いできておりません。当時の福岡支店の方、特に大塚邦彦元社長の奥様、輝子さんにお会いしたいです。

皆さんお元気でしょうか？今はハウス食品東京本社（紀尾井町）から比較的近くに住んでおります。社屋の近くを通る度に、なつかしく遠い記憶がよみがえります。



自作の手書きPOP

## “拝啓、26の君へ”

本田徹さん

入社：1977年 最終所属先：大阪本社 大阪府茨木市

写真は名古屋支店「慰安旅行」の集合写真です。1980年秋の伊豆。当時の私は26歳ですから、丁度40年が経ちました。入社3年目にて、大半の方々が先輩ということになります。東海3県管轄の名古屋支店・営業所、静岡営業所、北陸3県管轄の金沢営業所合同の社内旅行だったのでしょ。なつかしくお若い顔々が…。ぜひ、お知り合いの方を探してみてください。

まだ「CG」「SG」「IFG」なんてグループ名称の時代でしたね。前後に発売された「秀樹のポテトチップス」の取扱い促進は大変でした。まだまだ下っ端の私が担当する小売店や市場内の乾物屋クラスに、なんと菓子問屋ではなく食品問屋を通じて売り込もうとするのですから。大変苦労したことが思い出されます。夜討ち朝駆けとか深夜の販売会議とか。「何か意見は無いか？」という上司に「眠たいです」といった先輩には驚きと感謝。「じゃ、終わろう」と返した上司も凄かった。今はNGですね。

現在、我が街にはイオングループが跋扈し、スパイスコーナーはS社一色。さらに、ハウス党だったコーヨー・阪急オアシス・このみや・万代・やまや等に行っても「特選わさび」すら手に入りません。悲しい時代の変遷を感じます。営業部署の皆様。ぜひ頑張ってください。

さて、26の君へ伝えたいことがあります。40年の後の君は定年まで勤めあげ、悠々自適の生活をしています。得体のしれない疫病にも負けず、平凡ですがまあまあ健康で幸せな毎日です。自分とは何か？どこへ向かうべきか？問い続けられ見えてきます。今負けないで泣かないで消えてしまいそうな時は、自分の声を信じて歩けばいい。



事をしました。

現在、70歳元気です。今は近所のマンションの管理員の仕事を8年間やっています。ハウス食品で身に付けた、考え方、技術と知識は大変有意義に役立っています。住民の方からも喜ばれています。奈良市の公団住宅「桂木団地」で45年間、今も変わらず生活しています。自慢はできませんが一度も引っ越しなしです。まるで“シーラカンス”になっています。

## ご縁ときずなを感じて

石田典克さん

入社：1985年 最終所属先：奈良工場 島根県益田市

現在、私は島根県の食品会社に勤務しレトルト食品の殺菌工程を担当しています。

退職して24年になりますが、ハウス食品との取引があり縁を感じ仕事をしています。驚くことに数年前まで新製品の立ち上げの時に、私がハウス食品の奈良工場に勤めていた時の上司としてお世話になった大深さんがこられていたのです。

大深さんは、来工されるたびに近くに来てくださり握手して「石田君元気か？」と声をかけてくださいました。しかし、現在は下請けとお客様の立場、業務中でもあり挨拶程度しかできない状況でした。大深さんは定年前だと聞いており、ここ数年お会いしていないので定年されたのだと思います。きちんとご挨拶、感謝できていないのが心残りでありません。

今回「きずな」と「一樹の会」の企画を知り、おたよりを書いた次第です。大深さん、定年おめでとうございます。おつかれ様でした。感謝の気持ちが届けば幸いです。

今後も、ご縁ときずなを感じながら仕事をしていきたいと思っています。



## 昭和のPOP広告

鈴木朱美さん

入社：1963年 最終所属先：福岡支店 東京都渋谷区

入社時から福岡支店にて大塚邦彦支店長（元社長）のもと、今は亡き田畑久さんや白井和宣さん達と販売促進員として働いていました。宣伝販売、小学校や公民館等での料理講習の助手、また店舗向けに手書きの自作POP広告を作成し（添付写真）、自ら売場の陳列商品の前に貼りました。たくさんの売場担当者からとても喜んでいただけたことを鮮明に覚えています。

読者の皆様の声をお聞かせください。

※ホームページをご利用いただけない方は、点線に沿って切り離してご利用ください。

郵便はがき

5778790

料金受取人払郵便

布施局  
承認  
825

大阪府東大阪市御厨栄町  
1-5-7

ハウス食品株式会社  
人事総務部「きずな」担当行

差出有効期間  
2022年2月  
28日まで  
(切手は不要です)





表紙  
ご案内



記念樹と大阪本社



赤い実をつけたクロガネモチ



記念樹と共にある記念碑

## ハウス食品創業100周年記念 記念樹と記念碑

2013年9月ハウス食品創業100周年を記念しOB・OG有志の皆様による寄付で、大阪本社内に記念樹と記念碑を寄贈いただきました。

あれから8年経過し、記念樹の「クロガネモチ」には、たくさんの赤い実が実るようになりました。

クロガネモチは、「出世、金運をもたらす縁起木」と言われており、この先も永くハウス食品を見守り続けていってくれると思います。